

私、坂戸健司が【COPパーソナリティー分析】を世の中に広めたい理由。

私は小学校の時に、クレペリン検査という知能指数を測定するテストを受けました。当時、全国の小学生が受けたもので、昭和40年以降は知らない人も多いと思います。その結果は、私の母も心配するほど低いものでした。

担任の先生は、私が父の仕事の都合で小学校2年のときに転校してからもずっと心配してくれていたようで、町で偶然見かけた私の叔母に、「あの子は上の学校に上がったのでしょうか？」と尋ねたそうです。

叔母は、「ええ、ちゃんと中学、高校と行きましたよ」と言うと、「そうですか、安心しました」と言ってくれたそうです。

私は中学、高校と成績はとりわけ低かったわけではなく、いつも真ん中よりはすこし前の方で、普通の学力だったと思います。

あの知能指数のテストを小学生の時に受けてから、私は知能指数と人の能力というものの関係を考えるようになりました。

いつも心のあったことは、クレペリン検査・知能指数テストの結果報告の中の「あなたがなれる仕事・職種は」という項目でした。

これから先の夢を人並みに持っていた小学校低学年の私にとってはとても残酷なもので、私になりたい将来のイメージとは程遠いものでした。

一つの結論として、人が義務教育やそのあとの教育を受けて社会に出て仕事をするための能力は、“知能指数”だけで決められるものじゃない。ということです。

むしろ健全な知能と精神を持っている人であれば、頭が良いとか知能指数が高いということよりも、むしろ“人間関係”を良好な状態にできる人が社会の中で必要とされて働き続けることができると思います。

そして、その人間関係はもとより、常に自分のなすべきことを見つけ出し努力するというその人の“性格”というものが、働いて生活するために極めて大きく、そして深く関わっているということを実感しております。

私が2019年から【ニュークリエーションリーダーゼミ】を日本の五大都市において開催しようと思ったのは、ゼミの根幹の学習カリキュラムである【自分学】をこれからの時代を切り開いてゆきたいと願っている人達に学んでもらいたいと思ったからです。



それは自分自身の“性格傾向”を知ることから始めます。

それを可能にしてくれるのが【COPパーソナリティ分析】という性格傾向を数値化できるソフトです。私はこれまで40年以上、様々な仕事を通して多くの企業とそこで働く人々と仕事をしてきました。その経験から思うことは、「実は自分のことを一番理解していないのが自分である」ということです。

私自身このCOP分析のおかげで、《クリエイター・技術者》から、技術やクリエイティブな思考、方法論を《人に教え指導する講師、コンサルタント》へと180度、仕事と生き方そのものが変わる経験をしました。

この【COPパーソナリティ分析】で自分の性格傾向を知ることによって、仕事だけではなく、生活においてもミスやロスを未然に防ぎ、さらに「自分は本当は何をしたいのか?」「どんなふうに生きてゆきたいのか?」を自分の力で掴み取ることができるようになります。不幸にしてブームなどに踊らされたり、一時の流行などといった社会の影響を受けて望んでもいない生き方をすることなく、自分自身の求めることに気づいてゆくことで仕事への責任感が生まれ、さらには生きてゆくことの覚悟ができてくるでしょう。

結果、組織や会社の中で評価も高まってゆきます。

私はこれまで、ビジネスマンのためのビジネス書を20冊ほど書いてきました。

それらからのご縁から研修や講演活動を20年以上続けています。

講演活動は様々な教育関係の代理店や研修会社、コンサルタント会社の主催者から依頼されて、東京、または大阪でお仕事をさせていただいてきました。

しかしながら、受講したいと思っている人が東京、大阪へ行くのは職場の環境によって、あるいは立場的、また時間的、コスト的に「行けない」「難しい」という人達がいることも知っています。

だからこそ主催する弊社にとっては経営的には厳しく躊躇はするものの「それなら自分が全国各地へ行こう!」と考えて、五大都市で【ニュークリエイションリーダーゼミ】を開催することにしました。

これからの時代を楽しく、健康に、そして世の中の役に立つ仕事をしてみたい。

と願う人達との出会いがあることを期待し、心から楽しみにしています。

